

ちの市議会だより

CHINO CITY COUNCIL REPORT

2015年11月19日 第15号

〒391-8501 長野県茅野市塚原二丁目6番1号 ☎0266-72-2101 FAX.0266-73-7936

茅野市議会

検索

発行 / 茅野市議会 編集 / 議会広報部 印刷 / 株式会社 オノウエ印刷

<http://www.city.chino.lg.jp/>

目次

常任委員会報告	2
議決結果・賛否一覧①	6
議決結果・賛否一覧②	
陳情議決結果	7
一般質問通告一覧	8
議会の活動・会派の紹介	10
議員連盟の紹介	11
議会報告・意見交換会の報告、編集室より	12

平成27年9月定例会（決算議会）

議会は市の予算が適正に使われているか審査をし、その効果を調べて評価をする重要な役割を担っています。9月議会は主に前年度の決算が審査・認定されるため、「決算議会」と呼ばれています。

基金の取り崩しに頼らない収支均衡財政を目指し、「財政構造改革」に取り組む3年間の初年度の決算審査であり、慎重に審査しました。

平成26年度 茅野市の決算状況 一般会計及び特別会計 共に黒字決算

平成26年度茅野市一般会計予算

【歳入決算額】

256億
9,980万円

〔前年度に比べて、
43億4,231万円、14.5%の減〕

【歳出決算額】

245億
9,178万円

〔前年度に比べて、
44億3,784万円、15.3%の減〕

【実質収支額】

9億7,740万円

〔黒字決算〕

■歳入歳出決算額の減少理由

- 平成25年度は、茅野市土地開発公社の解散に伴う債務代位弁済と、その財源として第三セクター等改革推進債の借入れを行ったため、平成26年度に比べ歳入歳出額が多かったため。

■基金の状況について

一般会計の基金残高

平成24年度末	41億8,947万円
平成25年度末	40億2,236万円
平成26年度末	38億9,257万円

※平成26年度末において、一般会計の基金残高は、前年度比、1億2,979万円の減となりました。

平成26年度 茅野市のまちづくり

■主な事業（ハード面）

横内保育園の建設事業、防災行政無線のデジタル化事業、宮川地区の土地区画整理事業、塩沢大橋補修等の橋梁長寿命化修繕事業、下町線舗装修繕事業、白樺湖及び蓼科湖の遊歩道整備事業、岳麓公園リニューアル事業

■主な事業（ソフト面）

茅野・産業振興プラザを活用した産業間連携等を目的とした「産業振興ビジョン」の推進、茅野市発達支援センターの設置、中学生台湾交流事業及び自主防災組織活動支援事業の推進、横岳休暇村再生の補助事業、市内の地区や区が中心となって策定された「第2次地域福祉行動計画」の策定支援

◇特別会計決算

特別会計名	収 入	支 出	差 引
国民健康保険	61億4,688万円	58億5,695万円	2億8,993万円
後期高齢者医療	6億23万円	5億7,684万円	2,339万円
墓 地 事 業	7,943万円	895万円	7,048万円

※万円未満を四捨五入しています。

◇企業会計決算

特別会計名	収 益	費 用	純 利 益
国民健康保険診療所	1億9,896万円	1億9,557万円	339万円
水 道 事 業	13億7,568万円	9億9,290万円	3億8,278万円
下 水 道 事 業	23億9,651万円	19億4,954万円	4億4,697万円

※万円未満を四捨五入しています。

(決算額は、税込金額のため収支差引の純利益とは一致しません。)

9月定例会より

茅野市議会9月定例会は、8月31日(月)から9月28日(月)までの会期で開催されました。

補正予算や条例など26議案、諮問1件が審議され、いずれも原案のとおり承認、可決、認定されました。

また、陳情4件が審議され、2件が採択となりました。また意見書案は、2件が可決されました。

各議案の一覧及び議決結果は、6から7ページをご覧ください。

また、審査経過及び結果は、常任委員会報告のページをご覧ください。

常任委員会報告

予算決算委員会

委員長 山岸 正衛

予算決算委員会に付託された案件は、補正予算3件、平成26年度各会計の歳入歳出決算の認定及び

剰余金の処分についての10件。

議案第56号

平成27年度茅野市一般会計補正予算(第3号)について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ5億5737万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ、238億6767万6千円とするもの。

主な歳出

・今後の公共施設等総合管理計画による維持修繕費を見据えた、公共施設整備基金への積立金、3億円を増。
・冬季における凍み上がり現象と経年劣化等により、市内の道路の舗装状態が全域にわたり悪い状況になっている。安全確保のため、今後5年間で約10億円の予算を集中的にかけて道路修繕を実施していくための工事請負費、1億3千万円の増。

【討論】

反対意見

「マイナンバー制度について、

責任を持つて行うことができるかどうかとの質問に対し、粛々と行っていくとの回答だった。責任を持つてやりきると言えないものを、認めるわけにはいかないので反対。」

議案第57号

平成27年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ6610万円を追加し、67億2960万4千円とするもの。

主な歳出

・一般被保険者療養給付費負担金返還金等の補正増。

議案第58号

平成27年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

可決

この議案は、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2307万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ、6億762万4千円とするもの。

主な歳出

・後期高齢者医療広域連合納付金の補正増。

総務環境委員会

委員長 望月 克治

総務環境委員会に付託された案件は、議案4件、陳情1件。

議案第47号

(仮称)市民活動センター(複合館)建設工事(建築主体工事)の請負契約について

可決

この議案は、(仮称)市民活動センター(複合館)建設工事(建築主体工事)の請負契約を行うため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

質問

「総合評価落札方式の価格点以外の評価点について。」「電気設備工事、機械設備工事の価格点以外の評価点について。」

回答

「建築主体工事については、3億円以上の工事に総合評価落札方式を取り入れており、価格が85点残りの15点の内訳は工事成績が3点、同種工事の実績で2点、地域要件として市内に本店支店があるかが2点、茅野市内における社会地域貢献として、除雪融雪剤散布事業が1点、ボランティア活動が1点、災害貢献が1点の計3点。技術者要件が2点、建設マネージメントが1点、地元業者の活用が2点、合わせて15点を積み上げている。」

質問

「入札には何社が参加しているのか。」

回答

「入札の参加者は、電気設備工事については6社、水道の機械設備工事は9社である。」

質問

「落札しない業者は評価点が上がらないため落札が難しくなるのではないか。」

回答

「工事成績に関しては、3百万

円以上のものをポイントにしているので、総合評価において会社規模などで差はでないと考える。」

議案第52号

茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、特定個人情報の取扱いに関する規定を整備するためのもの。

施行日は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行日。ただし、情報提供等記録に関する部分は、番号法附則第1条第5号に掲げる規定の施行の日。

質問

「情報が漏れたときの責任はどこが取るのか。」

回答

「情報が漏れないことを前提に考えているが、特定個人情報保護委員会が監視・監督をしている。情報が漏れないように分散した情

報システムにより管理し、総務省でもチェックしている。漏れた場合には原因となったところで責任を持ち、特定個人情報保護委員会の罰則が適用される。」

【討論】

反対意見

「委託は際限なくでき、情報を多くの人が目にする可能性がある。今後、マイナンバーの利用が広がるので情報漏えいする危険性がある。市は国に対して、しっかりと法律を作れることを訴えていくべきであり、条例で個人情報の漏えいが防げるとは思えないので反対。」

賛成意見

「情報漏えいしないように分散して管理していくということであり、再委託することは常識の範囲で考えていけばよく、きちんとした情報管理をしていけば問題ないと思うので賛成。」

議案第53号

茅野市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

可決

この議案は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、個人番号通知カード及び個人カードの再交付に係る手数料を規定するためのもの。

施行日は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行日。ただし、第2条の規定は、番号法附則第1条第4号に掲げる規定の施行の日。

質問

「個人カードの発行は、最初は無料で再発行は80円かかる。個人カードの利用が増えれば国の財政負担は増えるが、財政負担に見合うだけの利用価値があるのか。」

回答

「自治体でも条例で独自の利用ができるという定めがあるので、全国では利用範囲が広がると考えている。」

「国は、今後3年を目途に法改正を予定している。個人カード使用により利便性が高まり、行政コストの削減も考えられる。」

【討論】

反対意見

「番号法には不備があり、情報が守り切れるとは思えない。今後、利用範囲が広がり、地方自治体も事務の煩雑化を押し付けられることになるため賛成できない。この条例は番号法のための改正なので反対。」

賛成意見

「番号法の導入にあたり必要な条例改正なので賛成。」

議案第54号

茅野市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について



この議案は、地方公務

員等の共済組合法の一部改正に伴い、関係規定を整備するためのもの。

施行日は、平成27年10月1日。

陳情15

外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める

陳情

不採択の意見



「この件については、日本人、外

国人共に国外の扶養親族に関して、国内の扶養親族と同じに公の機関の発行する書類により確認をすることや、送金の事実が確認できる書類の提出を求めることが、平成27年1月14日に閣議決定されている。既に国が法整備をしているので、陳情15は採択しない。」

「側溝に向かつて、道路の横断は、1・5%の勾配が取られており、縦断は、1・15%の勾配となっているため、排水については支障ないと考えている。また、グレーチングは、市道を建設する際の基準と同じく、10メートルに1カ所程度で設置されており、特に市道との取り付け口のグレーチングは広くしてあるので問題ないと考える。」

経済建設委員会

委員長 樋口 敏之

経済建設委員会に付託された案件は、議案4件。

議案第48号

市道路線の認定について（米沢埴原田地籍）



この議案は、道路法第

8条第2項の規定により、市道認定をするもの。（宅地開発に伴う市道路線の認定。）



質問

「市道の認定にあたり、同地は水はけが悪い土地と聞いている。この道路は、側溝が片側にしかなく、32メートルの延長に対し、グレーチングが4カ所しか設置されていないが、雨水処理は大丈夫か。」

回答

「側溝に向かつて、道路の横断は、1・5%の勾配が取られており、縦断は、1・15%の勾配となっているため、排水については支障ないと考えている。また、グレーチングは、市道を建設する際の基準と同じく、10メートルに1カ所程度で設置されており、特に市道との取り付け口のグレーチングは広くしてあるので問題ないと考える。」

質問

「この道路は、ビナスラインに接続する道路に取り付けられるが、この開発地に住宅が建設されると、ビナスラインへ向かう交通量が増え、交通渋滞が起るこ

場合、どのような対応をされるか。」

回答

「県道との取り付け道路になるため、県と調整していくことになる。地域の要望を踏まえどのようにしていくか検討していくことになる。」

議案第49号

白樺湖下水道組合規約の一部変更について



この議案は、白樺湖下

水道組合の共同処理する事務、議員の定数及び経費の支弁の方法を変更するもの。

施行日は、平成28年4月1日。

質問

「終末処理場の建設に係る国庫補助金の返還について、返還金額はどのくらいか。また、茅野市と立科町の負担割合はどれくらいか。」

回答

「国庫補助金の返還額は、現在国と協議中ではあるが、9千万円程度になると考える。茅野市と立科町の負担割合は、終末処理場の

建設時の負担割合が茅野市83%、立科町17%であったため、返還においても、同負担割合とする。」

質問

「白樺湖下水道組合の存続に対して、今後、組合は必要ないのではないか。」

回答

「終末処理場を今後どうするかということについては、検討中であるが、解体する場合、工事が概算で20億円かかる。今後の方向が決定するまでは、組合として管理していかなくてはならない。組合の在り方については、方向性が確定した後、検討していく。」

議案第50号

白樺湖下水道組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について



この議案は、地方自治法第289条の規定により、白樺湖下水道組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分を定めるもの。

議案第55号

茅野市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について



この議案は、福島復興再生特別措置法の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの。施行日は、公布の日。

質問

「この条例の一部改正により、茅野市に対象となる方はいるのか。」

回答

「現在対象となる方はいない。」

福祉教育委員会

委員長 伊藤 玲子

福祉教育委員会に付託された案件は、陳情3件。

陳情13

年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情書



採択の意見

「陳情項目の1番目は、被保険者の利益のために、安全かつ確実な年金の運用をして欲しいということ、2番目は、年金を運用するにあたり、責任の所在を明確にして欲しいということ、3番目は、被保険者等が年金の運用に参加し、意思を反映できる体制を作って欲しいということだと思う。どれももつともなことなので採択。」

不採択の意見

「平成13年から少なからずリスクを背負いながら運用しているにも関わらず、なぜ今になってこのような陳情が出てきたのか疑問が残る。また、ハイリスク・ハイリターンという運用方法のひとつの運用方法だと考えるので不採択。」

陳情14

私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書

採択の意見

「私学は学費がかかるので、それに対する助成を増やして欲しいという内容のため採択。」



不採択の意見

「茅野市では、現状として、私立に通う保護者への直接補助ということとは課題になっていないと思うので不採択。」

陳情16

35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書

採択の意見

「長野県では、独自に35人以下学級をやっているが、国の財政支援がないため、講師の先生が多い。国の責任で35人以下学級を実現する中で、教職員を適正配置していくことは必要なことだと思うので採択。」



9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧(その1)

付託委員会 ○…賛成 ●…反対 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
 ※議長は採決には加わりません。

番 号	件 名	付託 委員会	議決 結果	松山 孝志	丸茂 岳人	伊藤 正陽	小尾 一郎	長田 近夫	矢島 正恒	両角 秀喜	両角 昌英	伊藤 勝	伊藤 玲子	樋口 敏之	篠原 啓郎	山岸 正衛	望月 克治	宮坂 武男	北沢千 登勢	小池 賢保	
46	平成27年度茅野市一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	茅野市教育委員会委員任命の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	(仮称)市民活動センター(複合館)建設工事(建築主体工事)の請負契約について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	市道路線の認定について(米沢埴原田地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	白樺湖下水道組合規約の一部変更について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	白樺湖下水道組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
53	茅野市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
54	茅野市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	茅野市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	平成27年度茅野市一般会計補正予算(第3号)について	予	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
57	平成27年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	平成27年度茅野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	平成26年度茅野市一般会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
60	平成26年度茅野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○
61	平成26年度茅野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	平成26年度茅野市墓地事業特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	平成26年度茅野市国民健康保険診療所特別会計決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	平成26年度茅野市水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	平成26年度茅野市下水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	予	認定・可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	平成26年度茅野市泉野大日影財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	平成26年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	平成26年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問 1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報 告 6	専決処分の報告について																				
7	債権放棄の報告について																				
8	平成26年度健全化判断比率及び資金不足比率について																				
9	株式会社ベルビアの経営状況について																				

9月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧(その2)

付託委員会 総務環境 経済建設 福祉教育 予算決算
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	松山	丸茂	伊藤	小尾	長田	矢島	両角	両角	伊藤	伊藤	樋口	篠原	山岸	望月	宮坂	北沢	小池	
				孝志	岳人	正陽	一郎	近夫	正恒	秀喜	昌英	勝	玲子	敏之	啓郎	正衛	克治	武男	登勢	賢保	
陳情	13	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	14	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	福	不採択	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●
	15	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	総	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	16	35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書	福	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	21	茅野市議会会議規則の一部を改正する規則について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	意見書案の提出について(年金積立金の被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	23	意見書案の提出について(35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議決日は、9月28日の議会最終日(但し、議案第46号、51号及び諮問第1号は、8月31日の開会日に即決)																					

議員提出議案

茅野市議会会議規則の一部が改正されました。

今回の改正は、男女共同参画を考慮し、議会活動を促進するため、新たに欠席理由に「出産」を追加し、「議員は、出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長(委員会の場合は委員長)に欠席届を提出することができる。」とした一文が追加されました。

平成27年9月定例会 陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情13	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書(決議)の採択を求める陳情書	政府に対し、年金積立金について、厚生年金保険法等の規定に基づき、被保険者の利益のために長期的な観点から安全かつ確実な運用を行うことを求めるもの。	日本労働組合総連合会長野県連合会 日本労働組合総連合会長野県連合会諏訪地域協議会	採 択	採 択
陳情14	私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	平成26年度に「就学支援金」制度が改正され、各家庭の教育費負担は軽減されてきているが、公立に比べ私学に通学する場合、保護者の学費負担はまだ重い。そのため、国・県に対し、就学支援金制度の拡充及び私学助成の増額等を求めるもの。	中信地区私学助成推進協議会	不採択	不採択
陳情15	外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情	国外で暮らす扶養親族の所在確認や所得の把握は難しく、扶養親族としての確認が不十分となる。国に対し、国外扶養親族の原則廃止など、扶養控除制度の見直しを求めるもの。	小坪 慎也	不採択	不採択
陳情16	35人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書	学校現場では課題の多様化がみられ支援を必要とする子どもが増加している。国の責任で「35人以下学級」が実施され、教職員増を盛り込んだ「新たな教職員定数改善計画案」が実施されることを求めるもの。	長野県教職員組合 諏訪支部	採 択	採 択

茅野市の課題を問う!

平成27年9月定例会の一般質問は、9月9日、10日、11日の3日間行われ、17人の議員から29項目についての質問が市側に出されました。

9月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
両角昌英	1 下水道の整備について	(1) 現在操業中の企業の下水道整備の実態について (2) 下水道未整備地域の企業で働く従業員が快適に働ける環境整備について (3) これからもより多くの企業が茅野市に移転してくれるよう、工場誘致が決まったときの迅速な環境整備の対応について
	2 戦没者慰霊のための忠魂碑の維持管理について	(1) 市内各地に建てられている戦没者慰霊のための忠魂碑の現況把握について (2) 危険な状況になっている忠魂碑の対策について (3) 忠魂碑の維持管理の実態及び今後の維持管理方法について
矢島正恒	3 農業を取り巻く現状と支援策について	(1) 遊休農地及び農地の利用集積の状況と対応について (2) 農業従事者の現状と支援及び集落営農組合への積極的支援について (3) 農業の収益性の強化と特産品の育成・販路拡大について
	4 地域の防災対策について	(1) 市災害対策本部と自主防災組織について (2) 要援護者支援対策の充実について (3) 地域の危険箇所について
山岸正衛	5 省エネルギー行動の実践について	(1) 家庭における省エネルギー行動の徹底について (2) 省エネルギー診断のあっせん、講習会の開催について (3) 環境家計簿の導入について (4) 太陽熱温水器の導入について (5) 省エネナビモニターの募集について
伊藤玲子	6 環境保全と環境美化について	(1) 市内の河川の水質について (2) 特定外来植物等の繁茂状況と市民への啓発後の成果について (3) ポイ捨ての現状と対策について
	7 ふるさと納税について	(1) 取組の現状と成果について (2) ふるさと納税を有効活用し、地域を活性化することについて (3) 返礼品の拡充について (4) 納税者に茅野市縄文ふるさと応援団への登録を依頼することについて
北沢千登勢	8 保健指導の充実と糖尿病・認知症対策について	(1) 保健指導の評価と課題 (2) 糖尿病対策 (3) 認知症対策 (4) 「二十歳の歯科検診」実施について
	9 茅野市みんなのまちづくり支援金制度について	(1) 事務の移管 (2) 市民限定「ふるさと納税」制度の活用
宮坂武男	10 観光戦略について	(1) 東海大学との包括的な提携に関する協定での観光と健康の進捗について (2) 富士見町、原村との農業観光の連携について (3) 観光商品の開発について (4) 縄文観光の映像化について (5) 観光にも結びつく花火大会の再開について (6) 観光振興の今後について
長田近夫	11 空き家対策について	(1) 空き家対策特別措置法施行後の取組と現状について (2) 今後の事業計画について (3) 空き家バンク制度について
	12 地方版政労使会議(仮称)の設置について	
	13 道路交通法改正に伴う自転車マナーの向上について	(1) 茅野市における事故状況について (2) 改正法の周知徹底について
両角秀喜	14 少子高齢化・人口減少化に立ち向かう、公民協働の合意形成による「まちづくり」について	(1) 地方創生に向けた柱(骨子)について (2) 地域活性化に向けた各団体との取組について (3) 活力ある事業運営について

※一般質問通告一覧は受付順となっています。

	件名	要旨
小尾一郎	15 市民プランにおける施策「地域医療」について	(1) 地方自治体の地域医療に対する市長の考えについて (2) 市民プランに記載されている「地域医療」の具体的なイメージについて (3) 市が検討している地域医療を達成するための課題と対策について (4) 市が検討している地域医療を達成するための茅野市の医療機関について
	16 組合立の公立病院の今後のあり方について	(1) 地方自治体が病院を運営する必要性について (2) 一部事務組合にて病院を運営する必要性について (3) 民間委託又は民間病院への移行について
伊藤勝	17 子どもと障がい者の医療費の窓口無料化について	(1) アンケート結果をどのように考えているか (2) アンケート結果をどのように市政に反映するのか (3) 茅野市から医療費の窓口無料化を発信できないか
	18 太陽光発電設備の設置について	(1) 固定価格買取制度終了後の予測は (2) 現在、住民とトラブルになっている施設はあるか (3) 固定価格買取制度終了後の想定や現在の問題点を踏まえて、ガイドラインの見直しはあるか
伊藤正陽	19 子育て世代の低所得世帯への支援について	(1) 子育て世代の低所得世帯の現状と子どもの教育への影響はどうか (2) 一人親世帯、準要保護児童・生徒の推移はどうか (3) 子育て世代の低所得世帯への支援について (4) 準要保護児童・生徒の適用基準の変更の影響と対策
	20 眺望できる展望台への改善	(1) 眺望を「売り」にしている公園や里山の現状について (2) 利用者からの要望について (3) 眺望がきく展望場所とするための対策について
小池賢保	21 茅野市におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略について	(1) 茅野市の人口ビジョンについて (2) 国の支援の活用について (3) 5年間のステップとその間のフォローについて (4) 市民とのパートナーシップについて (5) 市民プランとの関係について (6) 5年後以降の戦略について
丸茂岳人	22 茅野市版総合戦略骨子(素案)の今後の進め方について	(1) 4エリア内連携による誘客促進の具体的な取組と方法、目標滞在人口率を全国350位とした具体的な根拠は何か (2) インバウンド誘致促進の具体的な事業の進め方のイメージと時間軸について (3) 別荘利用者の滞在日数増加対策の支援事業の詳細 (4) 広域観光連携の促進についての進め方のイメージと連携都市の反応及び取組意欲について (5) 不妊治療助成事業の進め方のイメージと予算規模について
松山孝志	23 市総合戦略策定の中間状況について	(1) 検討全体の状況について (2) 茅野市の活かすべき財産について (3) エネルギーの地産地消を目指すことについて
	24 高齢化社会に向かう中での高齢者クラブの減少について	
	25 義務教育課程における平和教育について	
望月克治	26 マイナンバー制度への対応について	(1) マイナンバー制度導入で市民生活はどう変わるか (2) 導入への市の対応はどうなっているか (3) 市民への周知の取組は進んでいるか (4) 市の自主性は保たれるか (5) 民間企業への負担を試算しているか
	27 (仮称)市民活動センターの活用について	(1) 設置に関する市民会議ではどのような意見が出されたか (2) 市民会議の意見をどのように検討したか (3) 市は市民活動をどのように捉えているのか (4) 市はどのような形でセンターの運営に関わるのか (5) 市のセンター活用策はどういったものか
樋口敏之	28 茅野市土地開発公社が所有していた土地の売却について	(1) 旭ヶ丘住宅団地の現状と今後の販売戦略について (2) グリーンヒルズヴィレッジの現状と今後の販売戦略について (3) 市が所有する遊休土地の現状と今後の販売戦略について
篠原啓郎	29 空き家対策特別措置法の運用について	(1) 空き家対策特別措置法を主となり担当する部署について (2) 特定空き家等の敷地の固定資産税の軽減除外について (3) 空き家を増やさない対応策について

議会の活動

経済建設委員会 先進地視察

平成27年8月21日(金)

視察先 山梨県北杜市
八ヶ岳ツーリズムマネジメント

視察事項 八ヶ岳観光圏について



平成27年度の経済建設委員会では、会派や議員連盟に先駆けて常任委員会が活性化しなくてはならないという委員会の強い思いから、先進地の視察や各種団体との懇談会を進める第一弾として、山梨県北杜市と諏訪郡富士見町、原村で構成する八ヶ岳観光圏の視察に行きました。

議会の一般質問において、再三質問された内容ですが、改選後の新しい議員も誕生したなか、茅野市の観光行政の一助になればという思いからの視察でした。

視察においては、八ヶ岳観光圏の運営に関わる中心人物で、代表理事を務める小林昭治氏と意見交換を行いました。

設立の経緯や、八ヶ岳観光圏で3市町村はどのように連携しているのか。また、プラットフォーム事業の具体的な事例や、今後茅野市との連携を含めどのような展開を考えているか。等について質問をさせていただきました。

会派の紹介

会派とは、同じ理念や主張を共有する議員の集まりです。茅野市議会では、2人以上により結成されています。

やくどう

「躍動ちの」

代表者 両角昌英

所属議員 丸茂岳人、小尾一郎、矢島正恒、両角昌英、山岸正衛

結成年月日 平成27年5月19日

私たちは、茅野市政の発展に寄与することを目的とし、常に改革を意識し、市政に市民の声を反映させるとともに、積極的な調査、研究、議論を重ね、行財政のチェックのほか政策等を提言し、元気な茅野市を目指します。

きゅうふうかい

「究風会」

代表者 篠原啓郎

所属議員 樋口敏之、篠原啓郎

結成年月日 平成27年5月26日

私たちは、市政発足以来諸先輩議員が培った価値のある歴史を土台に、市民の声や時代の流れを究め、協働と連携を基本理念に行動し、まずは足元である議会活性化に取り組みます。活性化を推し進めるには、個々の議員が切磋琢磨し資質の向上を図る事が不可欠であり、その上で今何を行うべきかを的確に判断し、変えるべき事は変えて行く勇気を持つ事が必要です。究風会は、茅野市らしい特徴ある会派運営を目指します。

しんせいかい

「新政会」

代表者 宮坂武男

所属議員 長田近夫、宮坂武男、北沢千登勢

結成年月日 平成27年10月7日

私たちは、一人ひとりが自立した議員として認め合い、各自の問題意識に基づき自由な調査・研究・議論をもって自己を高めようとする議員の集合体であり、そのすべての責任を自分自身で負い、協力・協働して目的達成のため行動します。本会は、政策形成能力を持ち、茅野市政発展にふさわしい意思決定機関・チェック機関として恥じない、充実した活力のある議会を実現します。

議員連盟紹介

議員連盟とは、議員が同じ目的をもち結成する会の総称で、略して「議連」ともいいます。

平成13年1月1日結成

茅野市議会森林・林業・林産業 活性化促進議員連盟

会 長 小松一平
所属議員 全議員

この議員連盟は、「林業政策の進展を期し、その政策の推進を図ること」を目的として平成13年に結成されました。結成以来、改選により議員が入れ替わっても、議員定数18名全員で会を構成しています。申し合わせにより、会長には議長、副会長には副議長があたっています。茅野市の議員連盟は、毎年行われる長野県連絡会議の総会・研修会に参加し、研鑽を深めています。

平成27年7月1日結成

買い物弱者問題等検討議員連盟

会 長 北沢千登勢
所属議員
松山孝志 丸茂岳人 伊藤正陽 長田近夫
両角秀喜 伊藤 勝 伊藤玲子 宮坂武男
北沢千登勢 小池賢保

買い物や病院に行く足がないと困っている市民の声に胸を痛める者。スーパーの閉鎖によって地域が活力を失うのではないかと危惧する者。過去に一般質問で買い物弱者問題を取り上げた者。きっかけはそれぞれですが、

買い物(交通)弱者問題に危機意識を持った10人の議員が結集して「買い物弱者問題等検討議員連盟」が立ち上がりました。

立ち上げから3か月の間に、行政の公共交通に対する考え方の聞き取りや勉強会への参加、閉鎖するスーパーの店主との意見交換を行いました。また、市の担当部署や福祉21茅野と連携し協同で、民間小売業者等の買い物弱者に対する意識調査を始めました。

重要なのは、困っている人がどこに、どれくらい、どのようなことで困っているのかを正確に掴むことです。年を取っても暮らしやすい地域を目指すために、行政を含む他の関係団体や企業との連携、そして何より市民の皆様のお力をいただきたいと考えています。



平成27年9月17日結成

健康へ農業と観光を つなげる議員連盟

会 長 篠原啓郎
所属議員
松山孝志 丸茂岳人 長田近夫
矢島正恒 両角秀喜 伊藤 勝
伊藤玲子 樋口敏之 篠原啓郎
宮坂武男

(呼称)健康議連とし、健康をテーマに観光や農業などの産業振興で茅野市の元気を目指す議員の集まりです。

茅野市の自然環境を特色と位置づけ、地元の情報にアイデアを添え、加減乗除志向で産業振興策を捉え、地元と行政を繋げる懸け橋となるべく、自然の個性、仲間の個性を生かし複合的視野で多面的に取り組んでいます。



遊歩道の整備が進む蓼科湖

茅野市議会議員さんと語る会に参加しました。

10月26日に、女性団体連絡協議会主催の「茅野市議会議員さんと語る会」が開催され、参加してきました。

当日は、9月定例会の報告を行った後、「縄文プロジェクトの目指すところについて」、「観光地（白樺湖・蓼科など）の活性化について」、「出会いの場づくり（婚活）について」の3つのテーマで、グループごと意見交換を行いました。

意見交換では、様々な視点から、多くの貴重なご意見をいただくことができました。

いただいたご意見については、今後の活動の参考とさせていただきます。



ロングモント市・茅野市 姉妹都市提携25周年記念式典に参加しました。

茅野市での7月24日の記念式典に続いて、8月1日のロングモント市での記念式典に、茅野国際クラブの皆様と共に、牛山教育長と正副議長で参加いたしました。

茅野市議会議員がロングモント市を訪問するのは、2001年以来14年ぶりとなります。ロッキー山脈の広大な自然や、整然とした道路や美しい街並みを見聞する中で、すべてに感動を覚え、同じ山岳都市でありながら、茅野市とのスケールの違いに驚かされました。

ロングモント市とは、姉妹都市として数々の交流を行っておりますが、特に中高生のホームステイ交流事業は、ロングモント市の関係者とロングモント姉妹都市協会（LSCA）、茅野市国際クラブ、ホストファミリーの皆様方の熱い思いと献身的なご尽力に支えられていることを実感しております。関係する皆様方に心から敬意と感謝を申し上げます。

この経験を、議会活動にも活かし、子ども達の健全育成や茅野市発展と市民福祉の向上に繋げたいと考えております。



アメリカ合衆国コロラド州ロングモント市議会議員と一緒に

編集室より

黄金色に波打つ田んぼの稲穂が刈り取られ、冬の準備に入っていきます。相変わらず発生する災害、過日の鬼怒川の堤防決壊による被害は最悪でした。日常の生活を奪われ、これから冬の寒さに耐え忍んでいかなければならない被災者のことを思うと心が痛みます。改めて茅野市に大きな災害の無かったことに安堵しながらも、危機感をもって、必ずやってくる災害に対する準備をしていかなければならないと思うこのごろです。

茅野市議会9月定例会が9月28日に閉会しました。決算議会とも言われ、各決算の認定を行いました。予算決算委員会では活発な質疑応答があり次期予算編成に役立ったことと思います。決算内容も含めた「ちの市議会だより」第15号の発行となります。多くの市民の皆様にご覧いただけましたら幸いです。

議会広報部会

副部会長

山岸正衛

